

平成30年度「伊達小学校 教育のまとめ」発刊にあたって

伊達小学校長 登坂 恭之

平成30年度を終えるにあたり、一年間の総まとめとして、「伊達小学校 教育のまとめ」を発刊いたします。

本校は、校訓「強く 正しく 朗らかに」のとおり、健康な心身、確かな知恵と学力、豊かな人間性などの「生きる力」を育むことが学校の使命として、教育活動に取り組んでまいりました。今年度は、授業改善を中心に、職員が一丸となり、本誌のとおり、成果と課題を明確にすることができました。

学校教育における現状を考えると、2020年度の新学習指導要領の完全実施に向け、次年度は「変化・変容の年」になると考えます。完全実施のための準備やその趣旨に沿った見直し・改善が必要です。その変化を視野に入れた「新年度の経営方針・重点」、「具体的な改善事項」などをPTAの役員打ち合わせや学校運営協議会で説明し、ご理解とご承認をいただきました。

次年度の最重点事項の一つ目は、「だて学」を軸とする「社会に開かれた教育課程の実現」であります。そのためには、伊達を知り、地域・保護者の皆様のお知恵や力をお借りしながら、今までの計画を見直し・改善していくことが求められます。学習指導要領に沿って、内容の重点化を図り、取り組む時間の確保が大切になります。

二つ目は、「働き方改革を意識した業務改善」であります。国も北海道、伊達市も、目標値を提示しました。目標を達成するためには、重点化、環境整備、業務改善にも取り組まなければなりません。

この二つの事項を最重点として、皆様よりいただきましたアンケートや子どもたちの授業評価の結果を真摯に振り返り、今後なお一層の充実を目指していこうと思っております。改善点等について、皆様と情報を共有し、協働しながら、教育を実践していこうと考えております。

結びに、この一年間の本校の教育活動推進へのご理解・ご協力に対しまして、心から感謝申し上げます。ありがとうございました。次年度もよろしく願いいたします。